

## Model PD606 取扱説明書

<バージョン 1.03 対応 追補版>

この製品はソフトウェアがV1.03にバージョンアップされ、下記機能が拡張/変更されています。

- (1) MENUモードのSYS SETUPメニューにある、リミッターのパラメータ設定を拡張
- (2) ディスク・コピーを実行するときの、キー操作を変更

内蔵リミッターのパラメータを設定する場合、またはディスク・コピーを実行する場合は、取扱説明書・本文と併せてこの追補版をお読みください。

## リミッターのパラメータ設定

MENUモードの“SYS SETUP”メニューにある“Limiter parameter”(リミッターのパラメータ設定)を拡張し、インプット・チャンネル1～6に機能するパラメータとST BUSチャンネルに機能するパラメータを、個々に設定することが可能になりました。これにより、取扱説明書・本文(159ページ)に記載されているSYS SETUPメニューの選択画面にある“Limiter parameter”を、“Limiter CH-Input”と“Limiter ST-Out”に変更しました。

```

SYS▶
Auto part. link:Off
False start:Rename
◀Limiter parameter▶
Stereo out level:+4
Monitor custom▶
Speaker mute:On

```

<バージョンアップ前>

```

SYS▶
Auto part. link:Off
False start:Rename
◀Limiter CH-Input▶
Limiter ST-Out▶
Stereo out level:+4
Monitor custom▶

```

<バージョンアップ後>

### チャンネル1～6のパラメータを設定 (Limiter CH-Input)

SYS SETUPメニューの選択画面から“Limiter CH-Input”を選択して、[ENTER/YES]キーを押します。パラメータを設定する画面に変わり、「グルーピング」、「スレッシュホールド・レベル」、「レシオ」および「リミッターのレベル検出モード」が設定できます。

```

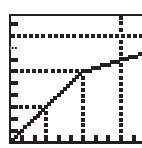
SYS▶
Auto part. link:Off
False start:Rename
◀Limiter CH-Input▶
Limiter ST-Out▶
Stereo out level:+4
Monitor custom▶

```

```

SYS▶Limiter CH-Input
Grouping:
Mono
Threshold:
- 6dB
Ratio: 1:5
Mode : Peak

```



### ST BUSチャンネルのパラメータを設定 (Limiter ST-Out)

SYS SETUPメニューの選択画面から“Limiter ST-Out”を選択して[ENTER/YES]キーを押します。パラメータを設定する画面に変わり、「スレッシュホールド・レベル」、「レシオ」および「リミッターのレベル検出モード」が設定できます。

```

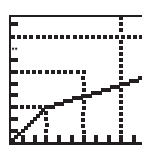
SYS▶
Auto part. link:Off
False start:Rename
Limiter CH-Input▶
◀Limiter ST-Out▶
Stereo out level:+4
Monitor custom▶

```

```

SYS▶Limiter ST-Out
Threshold:
- 6dB
Ratio: 1:5
Mode : Peak

```



<注意> : ST BUSのリミッターは常にL/Rがグルーピングされているため、Limiter ST-Outにはグルーピングの設定項目がありません。

### グルーピングの設定 (Limiter CH-Input 選択時のみ)

“Mono” または “1-6” が選択可能 (初期設定 : “Mono”)	
Mono	各インプット・チャンネルのリミッター・レベルに合わせて、個々にリミッターがかけられます。
1-6	チャンネル1～6がグルーピングされ、グループ内で一番レベルの高いチャンネルのリミッター・レベルが、他のグループ・チャンネルにも反映されます。これにより、リミッターが機能しても全チャンネルが同様に減衰されるため、ステレオなどの定位が移動することはありません。

## スレッシュホールド・レベルの設定

“ -6dBFS ” または “ -12dBFS ” が選択可能（初期設定：“ -6dBFS ”）

## レシオの設定

“ 1 : 3 ” または “ 1 : 5 ” が選択可能（初期設定：“ 1 : 5 ”）

## リミッターのレベル検出モード設定

“ Peak ” または “ RMS ” が選択可能（初期設定：“ Peak ”）	
<b>Peak</b>	選択したスレッシュホールド・レベルに対し、Peak レベル値でリミッターが動作します。 スレッシュホールド・レベルが “ -12dBFS ” でこのモードを選択すると、従来のアナログ方式のリミッターと比べて、リミッターのかかりがより強く感じます。そのため、このモードで使用するときは、スレッシュホールド・レベルを “ -6dBFS ” に設定することをお勧めします。
<b>RMS</b>	選択したスレッシュホールド・レベルに対し、RMS レベル値でリミッターが動作します。 このモードではVUレベルに近いレベルでリミッターが動作するため、従来のアナログ方式のリミッターに近似したリミッターがかけられます。

**<注意>** : RMS モードで動作できるのはFSが最大 48kHz までで、それ以上の FS では設定に関わらず Peak モードで動作します。

## ディスク・コピー実行時のキー操作

「ディスク・コピー」を実行する場合の、キー操作を変更しました。ディスク・コピーの詳細については、取扱説明書・本文の 109 ページをお読みください。

### 変更前のキー操作（本文 111 ページ記載の操作方法）

下記警告メッセージを確認後、[ENTER/YES] キーを押します。

```

---CAUTION---
If ENTER key is push
-ed,will start Disk
Copying and delete
DVD-RAM area data.
Are you sure?
Finish time:01M13S

```

### 変更後のキー操作

下記警告メッセージを確認後、[REC] キーを右へスライドさせながら [ENTER/YES] キーを押します。

```

---CAUTION---
If REC+ENTER key is
pushed,will start Dis
-k Copying and delete
DVD-RAM area data.
Are you sure?
Finish time:01M13S

```



フォステクス カンパニー

国内営業・企画販促グループ

196-0021 東京都昭島市武蔵野 3-2-35

042-546-6355

FAX. 042-546-6067

フォステクス ホーム・ページ <http://www.fostex.jp>